

消防団に関する各種制度について

消防団協力事業所表示制度

「消防団協力事業所表示制度」とは、従業員が消防団に相当数入団するほか、消防団に資機材を提供するなど、消防団活動に協力する事業所を顕彰する制度です。認定を受けた事業所は、取得した表示証を提示できるほか、自社ホームページなどでも広く公表し、地域貢献活動をPRできます。



「消防団協力事業所表示制度」表示マーク▶

機能別団員・分団制度

「機能別団員・分団制度」とは、入団時に決めた特定の役割や活動に参加できる制度です。災害時はもとより平常時においても、持っている能力や技術を活かして、地域に貢献することができます。

機能別団員の例 大規模災害団員／消防職団員OB団員

機能別分団の例 予防広報分団／事業所分団

学生消防団活動認証制度

「学生消防団活動認証制度」は、消防団員として活動した学生に対し、市町村長が「学生消防団活動認証証明書」を交付する制度です。この証明書は就職活動の自己PRなどで活用できます。なお、本制度は大学や経済団体へ周知されています。



消防団の主な待遇について

多くの市町村で年額報酬(数万円程度)や災害活動または訓練に出動した際の出動手当(一回あたり数千円程度)などが支給されます。また、以下のような待遇もあります。

公務災害補償

消防団活動中に負傷した場合の補償制度があります。

退職補償金

一定期間以上勤務して退団した際には、退職補償金が支給されます。

被服の貸与

消防団活動に必要な被服が貸与されます。

表彰制度

職務にあたって功労、功績があった場合には、表彰されます。

消防団へ入団するには

1 お近くの消防団を探す

ホームページ上の消防団一覧から、お近くの消防団を探します。

2 消防団へ問い合わせる

入りたい消防団の連絡先を調べ、電話・メールなどでお問い合わせください。

3 あなたも消防団員に!

お問い合わせ先の案内に従い、入団手続きが完了すれば、晴れて「入団」となります。

上記制度内容及び消防団への入団手続などについては、各市町村ごとに定められていますので、居住地(または勤務地)の市役所・町村役場または最寄りの消防署にお問い合わせください。

[お問い合わせ先]

あなたがいる。

だからまちは

笑顔であふれる。



消防団応援
サポーター
稲村亜美

職業:ホテル勤務
澤田 佳乃子さん
浦安市消防団
女性分団 分団長

消防団員募集

消防団に関する詳しい情報はWEBで
<https://www.fdma.go.jp/relocation/syobodan/>



@FDMA_JAPAN



総務省消防庁
Fire and Disaster Management Agency



総務省消防庁
Fire and Disaster Management Agency



女性の人々も
まちを守る消防団で
輝きませんか？

消防団について

消防団は、消防組織法に基づき、全国の各市町村に設置されている組織です。その構成員である消防団員は、他に本業を持ちながら、権限と責任を有する非常勤特別職の地方公務員として、「自らの地域は自らで守る」という精神に基づき、消防防災活動を行っています。



消防団員と消防職員の違いは？

消防団員は、非常勤特別職の地方公務員として、火災や大規模災害発生時に自宅や職場から現場へ駆けつけ、消火活動等を行います。一方、消防職員は、専任の職員として、消防本部や消防署に勤務しています。



消防団の主な活動について

平常時の活動

消火・防災訓練

火災現場での活動を想定した訓練（放水訓練等）を行っています。また、各地域で開催される防災訓練にて、自主防災組織等への訓練指導等を実施しています。



救命講習会

万が一に備えて、救急車が到着するまでの応急手当やAEDの使い方等を指導する講習会を行っています。



防火啓発活動

各家庭を訪問しての防火指導、幼稚園などでの防火教育等の啓発活動を行っています。



消火活動

火災発生時には、自宅や職場から現場に駆けつけます。消火活動、後方支援など、その場に応じた活動を行います。



災害時の活動

捜索・救助活動

大規模災害発生時等に地域をよく知る立場から、他機関と連携をとって、捜索・救助活動、避難誘導を行います。



水防活動

台風などの風水害の際は、河川の水位の警戒、土のうづくり・土のう積みのほか、排水、浸水防止などに迅速に対応します。



ここがポイント！

- 1 働きながらも地域に貢献できる！
- 2 参加しやすいさまざまな制度がある！
- 3 性別・職業問わず活躍の場がある！

対談インタビュー

稲村亜美 × 消防団員



稲村亜美
消防団応援サポーター

職業 ホテル勤務
澤田 佳乃子さん
浦安市消防団女性分団分団長

自分たちのまちは自分たちで守る。強い消防団をつくって、このまちに恩返しをしたい。

空いた時間に活動できる

稲村：消防団に入ろうと思った理由を教えてください。

澤田：普段は市内のホテルで働いていますが、入社2年目の年に屋内消火栓操作法大会に出場しました。その流れで、先輩の女性団員の方に声を掛けていただいたことが興味を持ったきっかけです。団員の皆さんがキラキラした笑顔で楽しそうに活動されていたのが印象的で入団しようと思いました。

稲村：消防団は男性のイメージが強いんですよね。不安はありませんでしたか？

澤田：シフト制の仕事なので活動にしっかり参加できるかなという不安はありました。でも、平日の夜や土日の昼間といった自分の空いた時間に活動できるので安心しました。訓練も月1回で、個々の能力に合わせてできるので思ったほどきつくないですよ。



分団長として団員の先頭に

稲村：消防団ではどのような活動をされているんですか？

澤田：31名の女性分団員を率いる分団長として、地域の方々に向けての救命講習の指導やイベントでの啓蒙活動、幼稚園や保育園での防災訓練などを行っています。年齢も生活スタイルも違う団員を一つにまとめるのは大変ですが助け合いながら頑張っています。



澤田：東日本大震災の時は、仮設トイレに水を貯める作業のお手伝いをしました。市民の方から感謝の言葉をいただいた時はうれしかったですね。

「強い消防団」をつくる

稲村：「まち」に対する意識が変わりましたか？

澤田：活動するうちに「自分たちのまちは自分たちで守る」という思いが強くなりました。先輩や仲間、フォローして下さる職員の皆さんと一緒に「強い消防団」を作って、もっとこのまちに恩返しをしていきたいです。



稲村：澤田さんにとって消防団はどんな場所ですか？

澤田：消防団は「まちを守りたい」という人たちが同じ目標に向かって活動しているので、お互いを高め合うことができます。そんな仲間がたくさんできたことは私の財産です。

稲村：いいことだらけですね。同じ女性としてこれからも応援しています！

